

職人不足に対応

受注も高める

ケーワンシステム 原田慶一社長

北海道で二重床、デッキ材と文教施設向けのデッキシステムを提供するケーワンシステム(札幌市)の原田慶一社長は、床工事や外構工事の遅れがあると話す。

「マンション工事などの大型工事は、札幌駅周辺などで再開発の大型工事があり、忙しさがある。昨年は新型コロナウイルスの影響が広がる

なかで、文教施設の工事が困難になり、不安があった。2021年は、新型コロナウイルスへの対策を図ったなかで工事が進められることで、ある程度の需要が見込まれる。ただし、職人不足の問題があり、これにどう対処していくかを考えていかななくてはならない。当社では床、デッキ材の職人が両方こなせる多能化を進めているが、まだ職人不足は解消されていない。今後は、建築動向と職人不足の2つの面からどう取り組むか考え、ゼネコンだけでなく各経営者に対して提案を増やしたい」と語る。

